



2024年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年11月10日

上場会社名 株式会社 進学会ホールディングス
コード番号 9760 URL <http://www.shingakukai.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 平井 将浩

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 竹山 正輝

TEL 011-863-5557

四半期報告書提出予定日 2023年11月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	2,038	40.7	1,003		988		1,039	
2023年3月期第2四半期	3,436	54.5	755		727		729	

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 1,042百万円 (%) 2023年3月期第2四半期 753百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	58.56	
2023年3月期第2四半期	40.42	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第2四半期	19,327	10,287	53.2	579.61
2023年3月期	19,436	11,537	59.4	650.05

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 10,287百万円 2023年3月期 11,537百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期		0.00		7.50	7.50
2024年3月期(予想)				5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,470	32.9	1,480		1,460		1,610		89.86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 社(社名) 除外 1社(社名 株式会社プログレス)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期2Q	20,031,000 株	2023年3月期	20,031,000 株
期末自己株式数	2024年3月期2Q	2,282,446 株	2023年3月期	2,282,446 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期2Q	17,748,554 株	2023年3月期2Q	18,038,244 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期におけるわが国経済は、2023年5月に新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことにより経済活動の正常化が進み景気の持ち直しがみられるものの、ウクライナ情勢の長期化、エネルギー資源の高騰による水道光熱費の上昇、円安による資源価格および原材料価格の高騰、また日本国内における物価高騰など、依然先行きが不透明な状態が続いております。

当社グループの主たる部門である教育関連業界におきましては、少子化や将来的な収入不安定等による個人消費の抑制など厳しい環境に直面しており、それらに対応できる施策が必要となっており、また、教育に関する情勢の変化に対応できるサービスの開発・質の向上が今後ますます求められていくものと認識しております。

このような環境のもと当社グループが今後の更なる成長を実現していくために、提携各社との一層のアライアンスの強化を行い、指導法や教材開発、募集活動等のノウハウの共有を図るとともに、全国の直営会場体制に関しては採算性の重視とスピード感のあるスクラップ&ビルドにより、質と量の両面において教室網の強化を進めております。また全塾生へタブレット端末を貸与し、自社開発のコンピュータ用学習ソフトの塾内利用ならびにオンライン授業ができる環境を整備し、日本全国どこでも受講可能なAIオンライン塾Go・KaKuを活用し、さらなる顧客獲得をめざしております。

当第2四半期の当社グループの運営につきましては、教育関連部門における個別指導の全国展開や新規会場の立ち上げ、個別指導とAIオンライン塾Go・KaKuを組み合わせた商品の開発など、売上増加策に取り組んでまいりました。しかしながら、新規集客の重要期である夏の募集において前年を上回る募集があったものの、コロナ禍に多くの不採算会場を閉じた影響で売上において計画を下回る結果となりました。また、資金運用事業である株式会社SG総研の売上高は、715百万円（前年は2,043百万円）となりました。

その結果、当第2四半期の売上高は2,038百万円（前年同四半期比40.7%減）、営業損失は株式市場の変動による子会社における有価証券の評価損の発生により1,003百万円（前年同四半期は755百万円の営業損失）、経常損失につきましては988百万円（前年同四半期は727百万円の経常損失）となり、親会社株主に帰属する四半期純損失は1,039百万円（前年同四半期は729百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

当第2四半期連結累計期間のセグメント別の概況は、次のとおりであります。

イ. 教育関連事業

コロナ禍で縮小させた会場数の回復を図るため、積極的な会場のスクラップ&ビルドを進めるとともに、映像配信サービスの充実、採算性の向上に取り組んでおります。個別指導部門は全国展開にともない生徒数・売上高ともに前年を上回り、また新規メニューの開発に取り組んでおりますが、受講率の伸び悩みから受講単価が予算を下回る状況で推移しました。この結果、売上高は711百万円（前年同四半期比6.8%減）となり、126百万円のセグメント損失（前年同四半期は93百万円のセグメント損失）となりました。

なお教育関連事業の性質上、第2四半期連結会計期間以降に売上高・利益とも増加する傾向にあります。

ロ. スポーツ事業

道内4ヶ所に施設を構えるスポーツクラブZipは、新規生の募集・入会ともに回復の兆しが見えてきましたが、夏の募集においては目標の水準に届かず、売上高は170百万円（前年同四半期比6.7%減）となり、セグメント損失は燃料高騰により13百万円（前年同四半期は3百万円のセグメント損失）となりました。

ハ. 賃貸事業

賃貸不動産や学習塾部門の教室の管理・清掃に関わる賃貸事業は、売上高は273百万円（前年同四半期比1.2%減）となり、セグメント利益は123百万円（前年同四半期比8.7%減）となりました。

ニ. 資金運用事業

資金運用会社である株式会社SG総研の当第2四半期の売上高は715百万円（前年同四半期比65.0%減）となり、セグメント損失は803百万円（前年同四半期は604百万円のセグメント損失）となりました。

ホ. その他

本セグメントは報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、教材の印刷や備品・消耗品の仕入れ販売などを含んでいます。当第2四半期の売上高は167百万円（前年同四半期比1.2%減）となり、セグメント利益は44百万円（前年同四半期比10.3%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は8,186百万円となり、前連結会計年度末に比べて123百万円増加しました。これは主に未収入金が838百万円増加したことによるものです。固定資産は11,141百万円となり、前連結会計年度末に比べて232百万円減少しました。これは主に投資有価証券が125百万円減少したことによるものです。

この結果、総資産は19,327百万円となり、前連結会計年度末に比べ108百万円減少しました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は、8,745百万円となり、前連結会計年度末に比べて1,136百万円増加しました。これは主に未払金が875百万円増加したことによるものです。固定負債を含めて負債合計は9,040百万円となり、前連結会計年度末に比べて1,141百万円増加しました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、10,287百万円となり、前連結会計年度末に比べて1,250百万円減少しました。この結果、自己資本比率は53.2%（前連結会計年度末は59.4%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想に関しましては、本日開示しました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,474,172	3,886,718
受取手形及び営業未収入金	128,699	58,147
有価証券	2,040,566	1,944,621
商品及び製品	6,495	6,060
仕掛品	—	458
原材料及び貯蔵品	20,500	10,452
未収入金	1,132,249	1,970,396
その他	260,815	310,480
貸倒引当金	△1,265	△1,265
流動資産合計	8,062,235	8,186,070
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	13,702,211	13,674,941
減価償却累計額	△7,635,615	△7,730,786
建物及び構築物（純額）	6,066,596	5,944,154
機械装置及び運搬具	571,921	584,685
減価償却累計額	△546,914	△548,311
機械装置及び運搬具（純額）	25,007	36,373
土地	4,122,438	4,122,438
その他	936,328	926,383
減価償却累計額	△907,319	△898,924
その他（純額）	29,008	27,458
有形固定資産合計	10,243,050	10,130,425
無形固定資産		
その他	17,948	20,098
無形固定資産合計	17,948	20,098
投資その他の資産		
投資有価証券	611,714	486,426
繰延税金資産	7,883	3,112
敷金及び保証金	137,620	140,609
退職給付に係る資産	280,733	281,767
その他	75,331	79,143
投資その他の資産合計	1,113,282	991,059
固定資産合計	11,374,281	11,141,583
資産合計	19,436,517	19,327,653

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	136,310	52,132
短期借入金	5,904,267	6,240,987
未払金	1,198,274	2,074,169
未払法人税等	159,800	64,202
未払費用	62,894	66,280
前受金	138,005	220,414
その他	10,158	27,609
流動負債合計	7,609,711	8,745,796
固定負債		
繰延税金負債	55,942	52,711
役員退職慰労引当金	76,302	81,127
資産除去債務	114,814	118,523
預り敷金保証金	42,167	42,334
固定負債合計	289,226	294,696
負債合計	7,898,937	9,040,493
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,984,100	3,984,100
資本剰余金	3,344,000	3,344,000
利益剰余金	5,448,928	4,202,082
自己株式	△1,022,590	△1,022,590
株主資本合計	11,754,437	10,507,591
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△269,873	△263,243
退職給付に係る調整累計額	53,016	42,812
その他の包括利益累計額合計	△216,857	△220,430
純資産合計	11,537,579	10,287,160
負債純資産合計	19,436,517	19,327,653

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	3,436,786	2,038,664
売上原価	3,798,696	2,672,181
売上総損失(△)	△361,909	△633,517
販売費及び一般管理費	393,798	370,455
営業損失(△)	△755,707	△1,003,973
営業外収益		
受取利息	4,470	704
受取配当金	14,560	9,297
その他	12,665	12,245
営業外収益合計	31,696	22,247
営業外費用		
支払利息	1,893	5,331
その他	1,300	1,684
営業外費用合計	3,193	7,015
経常損失(△)	△727,204	△988,742
特別利益		
固定資産売却益	74,325	—
投資有価証券売却益	310	7,491
投資有価証券償還益	158,760	—
役員退職慰労引当金戻入額	4,500	—
特別利益合計	237,895	7,491
特別損失		
固定資産除却損	310	686
投資有価証券売却損	132,498	—
特別損失合計	132,808	686
税金等調整前四半期純損失(△)	△622,116	△981,937
法人税等	107,054	57,465
四半期純損失(△)	△729,171	△1,039,403
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△729,171	△1,039,403

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純損失(△)	△729,171	△1,039,403
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△20,184	6,630
退職給付に係る調整額	△4,398	△10,203
その他の包括利益合計	△24,582	△3,572
四半期包括利益	△753,753	△1,042,976
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△753,753	△1,042,976
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。